

## 取扱説明書

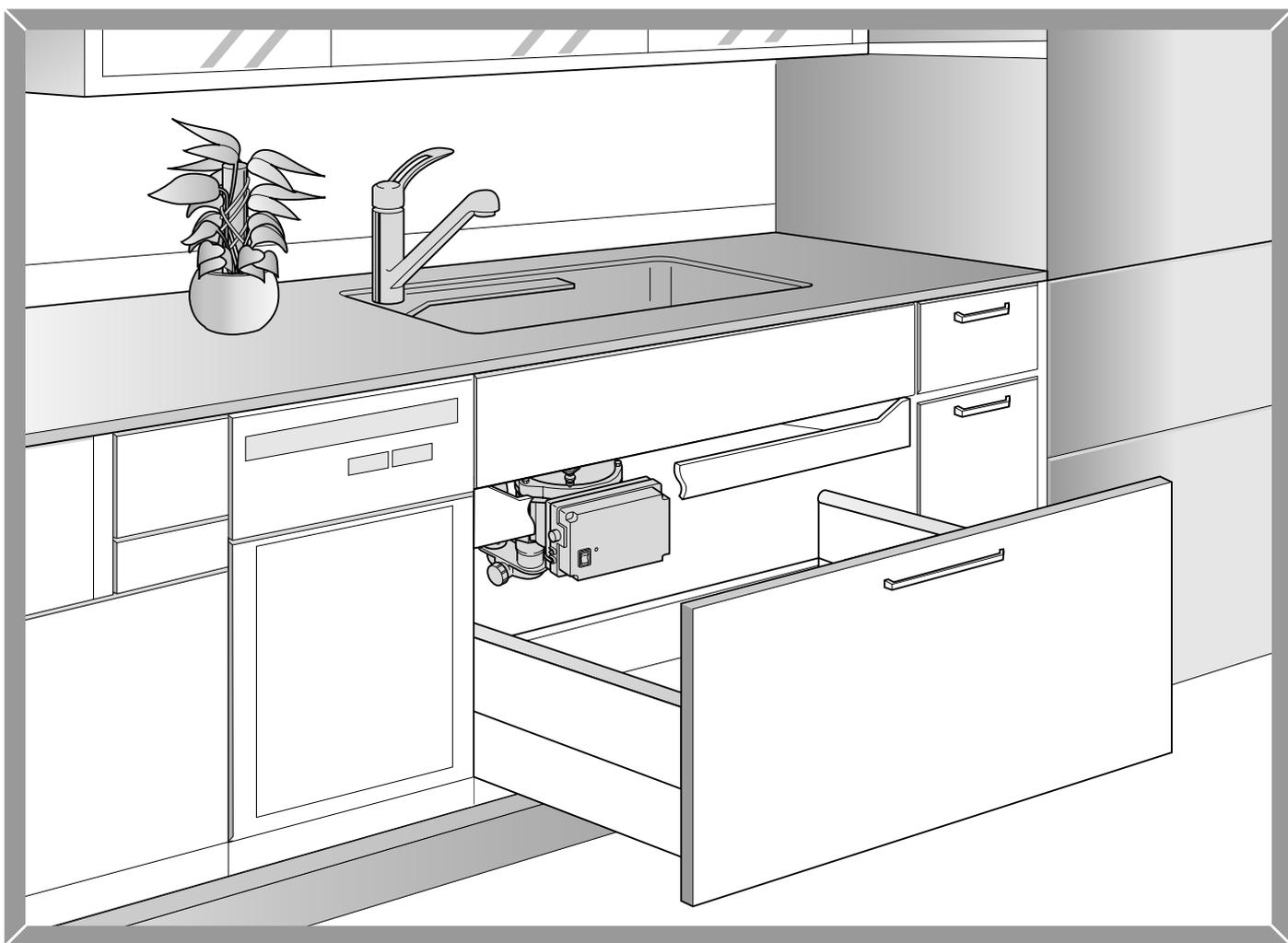
取付設置説明書別添付

## ディスポーザー

家庭用

屋内設置専用

品番 **KD-133**



**ディスポーザー単独での使用はできません。当社指定の処理槽と一緒に使用してください。**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

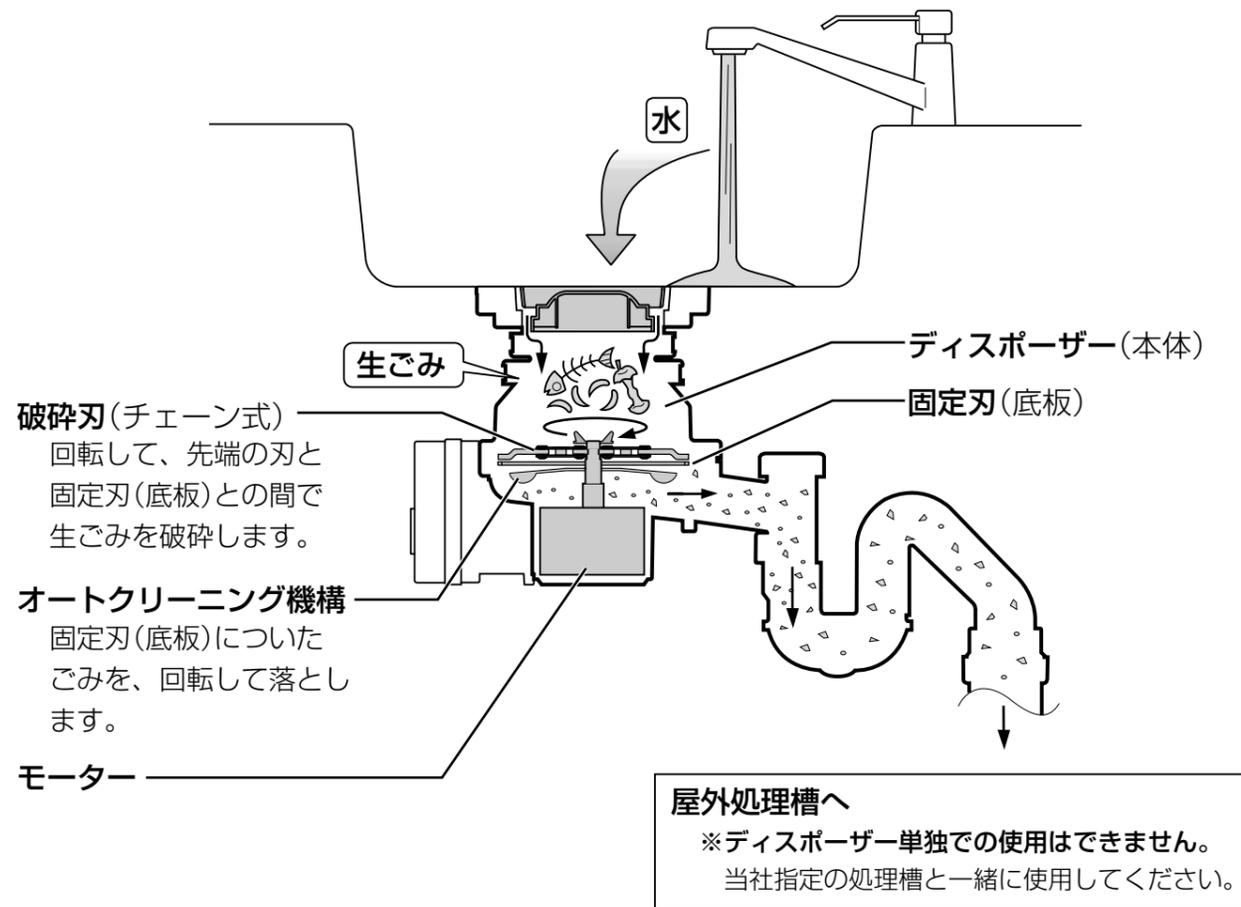
- 本機は水抜きタイプではありませんので、寒冷地区で凍結の恐れのある場合は使用できません。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(4~5ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お引渡し日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。
- 正しい設置および正しく使用されなかった場合の製品の故障および事故について、当社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# 生ごみを破碎し、水とともに洗い流す！

## ディスポーザー

### 破碎のしくみ

ディスポーザーとは、家庭で出される生ごみを破碎し、水道水とともに処理槽へ流す装置です。



### ご使用上のご注意

- 投入口に金属(スプーンなど)、プラスチック、輪ゴムなどの異物が入ったときは、必ず取り除いてから運転してください。
  - 異物を取り除くときは、電源スイッチを「切」にし、厚手のゴム手袋を着用してください。
- 薬品類(殺虫剤・除草剤など)や、強酸性・強アルカリ性の洗浄剤は、絶対に投入しないでください。
  - 本体を傷めて水漏れの原因になります。誤って投入した場合は、水を流しながら約1分間運転してください。
- 運転するときは、必ず毎分約8リットル以上の水を流してください。
  - 破碎された生ごみは、「水」で押し流されて処理槽に送り込まれます。水を流さないと、配管の詰まりや臭いなどの不具合の原因になったり、処理槽で正常な処理ができなくなったりします。また、破碎処理が正常にできず、本体内部の部品がはやく磨耗する原因になります。

# も く じ

安全上のご注意 .....	4
正しくお使いいただくためのお願い.....	6
各部のなまえ .....	7
使いかた .....	8
● 上手な使いかた.....	10
お手入れ.....	10
● 漏電しゃ断器の点検.....	11
故障かな?と思ったときには .....	12
仕 様.....	14
ディスポーザー保証書.....	15
保証とアフターサービス.....	裏表紙

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

## 警告

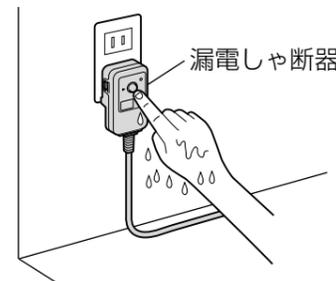
<p><b>絶対に分解したり、修理・改造はしない</b></p>  火災・感電・けがの原因になります。 <b>分解禁止</b> ● 修理は工事店にご相談ください。	<p><b>ぬれた手で電源スイッチを操作しない</b></p>  感電の原因になります。 <b>ぬれ手禁止</b>
<p><b>本体や制御ボックスをぬらさない</b></p>  漏電・感電の原因になります。 <b>水ぬれ禁止</b>	<p><b>電源コード・漏電しゃ断器付プラグを破損するようにはしない</b></p> <p>(傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、熱器具に近づける、重いものを載せる、束ねる、はさみ込む など)</p>  傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 <b>禁止</b> ● コードやプラグの修理は、工事店にご相談ください。
<p><b>コンセントや配線器具の定格を超える使用かたや、交流100V以外での使用はしない</b></p>  たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 <b>禁止</b>	<p><b>漏電しゃ断器付プラグのほこりなどは、定期的にとる</b></p>  プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 <b>必ず守る</b> ● 漏電しゃ断器付プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
<p><b>漏電しゃ断器付プラグは、根元まで確実に差し込む</b></p>  差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 <b>必ず守る</b> ● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。	

## 警告

ぬれた手で、漏電しゃ断器付プラグの抜き差しや、漏電しゃ断器の操作・点検をしない



ぬれ手禁止

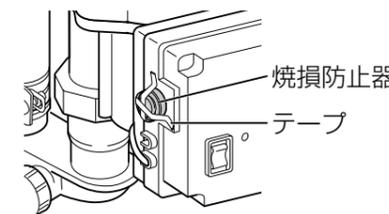


感電の原因になります。

焼損防止器(赤ボタン)を、テープなどで固定しない



禁止



モーターに異常負荷がかかり、火災の原因になります。

## 注意

異物を取り除くときやお手入れのときは、必ず電源スイッチを「切」にし、運転が止まっていることを確認する



必ず守る

破砕部内の破砕刃などで、手にけがをする原因になることがあります。

- 厚手のゴム手袋を着用して行ってください。
- 異物を取り除いた後やお手入れの後は、電源スイッチを「入」にしてください。

異物を取り除くときやお手入れのとき以外は、投入口の中に手を入れない(特にお子様には注意してください。)



禁止



破砕部内の破砕刃などで、手にけがをする原因になることがあります。

ため水を流すときは、絶対に運転しない



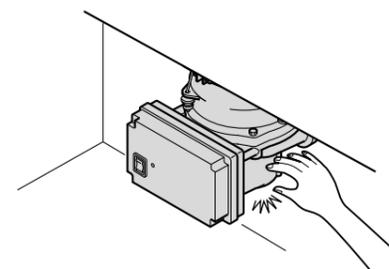
禁止

運転中に本体やシンクが大きく振動し、本体が落ちてけがや流し台内部の破損・水漏れの原因になることがあります。

モーターに直接手を触れない



接触禁止



高温になっている場合があり、やけどの原因になることがあります。

# 正しくお使いいただくためのお願い

## アース工事に関して工事店に必ず確認してください

### アース線が取り付けられていますか？

- 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。  
アース線の取り付けは、法律で義務づけられています。

### アース線をガス管、水道管、電話線および避雷針に接続していませんか？

- 爆発・感電の原因になります。

### ■ フタ(フタスイッチ)を落とさないでください。

フタ(フタスイッチ)が破損し、故障の原因になることがあります。

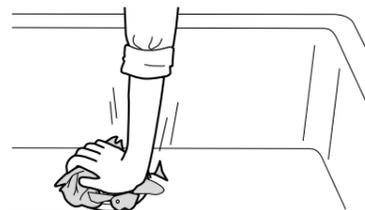
### ■ 生ごみを破碎するときは、必ず水を流してください。(毎分約8リットル以上)

破碎された生ごみは、「水」で押し流されて処理槽に送り込まれます。

水を流さないと、配管の詰まりや臭いなどの不具合の原因になったり、処理槽で正常な処理ができなくなったりします。また、破碎処理が正常にできず、本体内部の部品がはやく磨耗する原因になります。

### ■ 生ごみは無理に押し込まないでください。

(悪い例)



生ごみが破碎できなくなります。また、モーターに負荷がかかりすぎ、故障の原因になることがあります。

### ■ 次のような物は、絶対に投入しないでください。

金属・プラスチック・陶器類



たばこの吸いから・灰など



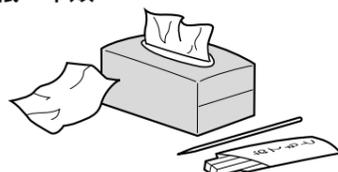
ラップ・プラスチックトレイ・ビニール・ゴム類



貝から・かになどのから



紙・木類



薬品類(殺虫剤・除草剤など)・強酸性や強アルカリ性の洗浄剤



誤って投入した場合は、水を流しながら約1分間運転してください。

本体を傷めて水漏れや故障、配管のつまりの原因になります。また、処理槽で正常な処理ができなくなります。

### ■ 次のような物は、多量に投入しないでください。

- 枝豆のからなど(繊維質のもの)

配管の詰まりの原因になります。

- 漂白剤・防カビ剤

原液は流さないでください。

本体を傷めて水漏れの原因になります。

- 食器洗いに使用される量や、鍋などに付着している油量程度は支障ありません。

- 台所用洗剤



- サラダ油

- 天ぷら油など



### ■ 卵の殻は、できるだけ投入しないでください。

流れにくいので、配管にたまって詰まりの原因になります。

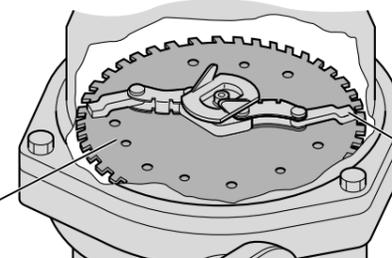
### ■ ディスポーザーのある所で洗髪をしないでください。

故障の原因になります。

# 各部のなまえ

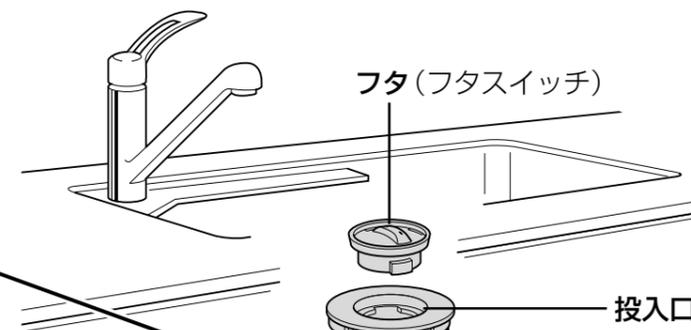
## 破碎部内

固定刃(底板)



破碎刃(チェーン式)

フタ(フタスイッチ)



投入口

本体

制御ボックス

排出管(別売部材)

漏電しゃ断器付プラグ

モーター

電源ランプ(赤色)

電源スイッチ

## 警告

焼損防止器(赤ボタン)を、テープなどで固定しない



禁止

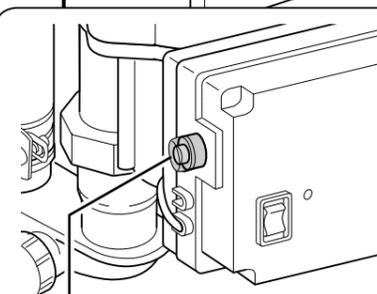
モーターに異常負荷がかかり、火災の原因になります。

## 注意

スライド式収納のキッチンの場合、収納物が本体に当たらないようにする



収納物破損の原因になることがあります。



(正常時)

- 赤ボタンが飛び出す

(作動時)

焼損防止器(赤ボタン)

- モーターに異常負荷がかかると作動し、運転を停止してモーターの過熱焼損を防止します。

運転を再開するには

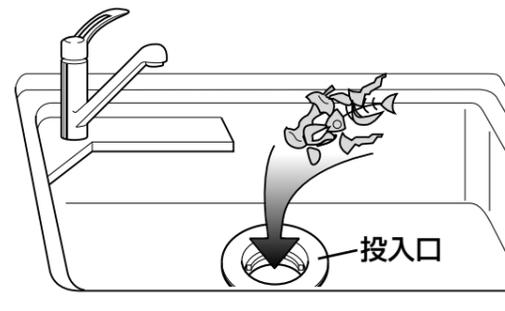
電源スイッチを「切」にし、赤ボタンを押してから、電源スイッチを「入」に戻してください。

# 使いかた

●電源ランプが点灯しているか確認してください。

## 1 生ごみを投入口から入れる

- 1回の投入量は、最大で約400 gを目安としてください。
- 破碎しにくいもの(10ページ参照)は、1回の投入量を少なめにしてください。

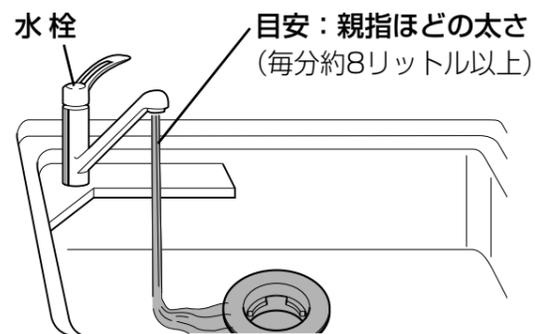


### お願い

- 食品以外のもの、貝がら・かになどのからは入れないでください。(6ページ参照)
- 破碎しにくい食材がありますので、10ページ「上手な使いかた」を参照してください。
- 食材以外の異物が入ったときは、必ず取り除いてから運転してください。
  - 異物を取り除くときは、電源スイッチを「切」にし、厚手のゴム手袋を着用してください。

## 2 水栓を開く

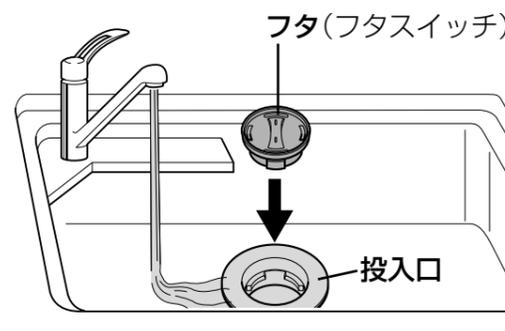
- 水の量が少ないと、配管の詰まりの原因になることがあります。



### お願い

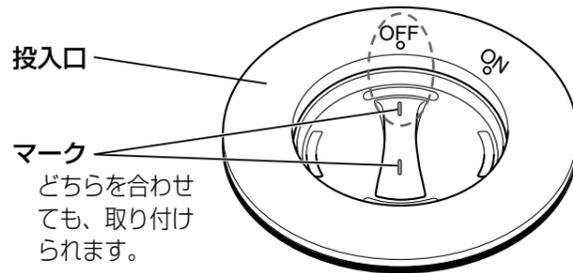
- 流量センサー(別売り)を設置している場合は、水栓レバーの位置をいちばん水側にして、水だけを流してください。

## 3 投入口にフタをする



### フタの取り付けかた

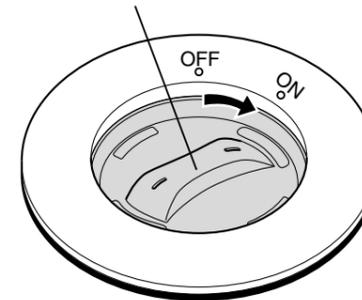
- フタの「マーク」を「OFF」に合わせて取り付けてください。



## 4 フタスイッチを「ON」にする (ブザーが「ピッ」と鳴り、破碎がはじまる)

- 本機は、1回の運転で約1分間破碎します。(破碎終了後、ブザーが「ピー」と鳴ります。)破碎しにくいものは、なくなるまで水を流しながら運転をくり返してください。(10ページ「上手な使いかた」参照)

フタ(フタスイッチ)



### お願い

- 投入口にフタを取り付けたら、15分以内に運転してください。  
(安全機能がはたらくため、15分を過ぎて「ON」にすると、ブザーが「ピーピーピー」と鳴り運転できません。)
- 運転をくり返すときは、フタスイッチを一度「OFF」にしてから、再度「ON」にしてください。

### お知らせ

- 1回の運転中に、破碎音が急に小さくなる(約1秒~2秒)ことがあります。異常ではありません。(12ページ参照)

〔運転を途中で止めるときは、フタスイッチを「OFF」にする(ブザーが「ピー」と鳴る)〕

## 5 破碎が終わったら 水栓を閉め、水を止める

### お願い

- 運転中に破碎音が小さくなくても、破碎部に生ごみが残っている場合がありますので、そのまま約10秒間、水を流しながら運転してください。

## 6 フタスイッチを「OFF」にする

### お願い

- ディスポーザーを使用していないときは、フタスイッチを「OFF」にしてください。「ON」にしていると、投入口への水の流れが悪くなります。  
(運転中の破碎音を低減するため、「ON」の位置では水を流れにくくしています。)

### お願い

- フタを時計などの精密機器に近づけないでください。  
(フタに内蔵されている磁石で、機器故障の原因になることがあります。)
- フタには磁石が内蔵されているので、金属が付きます。付いた場合はきれいに取り除いてください。  
(金属類が付いていると、フタを確実に取り付けられない場合があります。)
- 運転中に、異常音がしたり異常な振動がある場合は、すぐに運転を止めて破碎部内を確認してください。(12ページ参照)  
(誤ってスプーンなどの金属類が入っている場合、故障や配管の詰まりの原因になります。)
- 別売りの流量センサー(P-DS1)または自動給水システムを設置している場合は、それぞれに添付の説明書もお読みください。

# 使いかた (つづき)

## 上手な使いかた

- 大きなものや、かたいものは、細かくしてから投入してください。  
(スイカ・メロン・グレープフルーツの皮、生の大根・カボチャのかたまり、とうもろこし・キャベツの芯など)
- かたいものや、軽いもの(お茶の葉など)は、ほかの生ごみと混ぜると破碎しやすくなります。
- 以下のものは、1回の投入量を少なめにしてください。

ごみの種類	ごみの例
繊維質の強いもの	枝豆のから、竹の子・たまねぎ・とうもろこしの皮、花・果実の枝 ナス・ピーマンのヘタ、キャベツ・とうもろこしの芯など (破碎できないものは取り出して廃棄してください。)
破碎しにくいもの	生魚・生の鳥肉・イカの皮、もち、たくあん、鳥ガラ、魚の骨など
流れにくいもの	卵の殻、カレーのルー、ラード、生米など

- 繊維質の強いものは、破碎できない場合があります。破碎できないものは、破碎部内から取り出して廃棄してください。
- 破碎しにくいものは、なくなるまで水を流しながら運転をくり返してください。  
※ 製品保護のため、6分(6回)をこえて運転をくり返すと、ブザーが「ピーピー…」と5回鳴り運転を停止します。  
(13ページ参照)

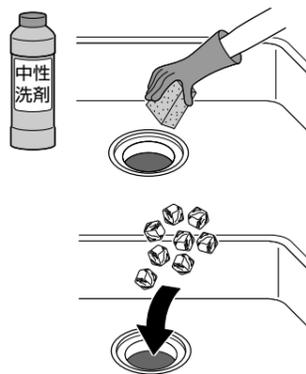
### 長期間使用されないときには

- 本機は、運転停止時でも約1Wの電力を消費しています。  
長期間使用されないときには、電源スイッチを「切」にしてください。

# お手入れ

## 破碎部・投入口・フタ

- 台所用中性洗剤を使って、スポンジなどで洗ってください。
  - ディスポーザーの内部を洗うときは、必ず電源スイッチを「切」にし、厚手のゴム手袋を着用してください。
  - フタは、つけ置き洗いしないでください。
- ディスポーザーの内部に、しつこい汚れが付着しているときは、氷を入れて運転してください。  
氷が粉碎されたら、ため水(約5リットル)を流してください。



## 排水管

- 1週間に1回程度、フタを取りはずして、ため水(約5リットル)を一気に流してください。
  - 流れにくい卵の殻などを流すためです。
  - 本体内部の付着物の除去、臭いや本体の傷み予防に効果的です。  
(清潔に保ってください)
  - 旅行などで長期外出する前にも実施することをおすすめします。



# お手入れ

本体に水漏れなどの異常がないか定期的に外観チェックをお願いします。(1ヵ月に1回程度)

## 本体・制御ボックス・排出管

- 柔らかい布でふいてください。  
(ひどい汚れには、台所用中性洗剤か石けん水を含ませ、かたくしぼってお使いください。)
- クレンザー・シンナー・ベンジン・アルコール・灯油などを使わないでください。  
(変色、変形の原因になります。)



**警告**

本体や制御ボックスをぬらさない



水ぬれ禁止

漏電・感電の原因になります。

## お知らせ

- 使用環境によっては、結露などの水滴が本体の下に落ちることがあります。

## 漏電しゃ断器の点検 (1ヵ月に1回程度)

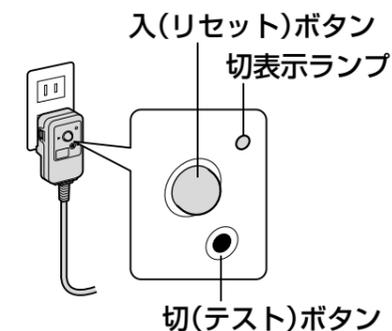
漏電しゃ断器の点検をするときは、電源スイッチを「入」にしておいてください。

### 1 漏電しゃ断器の切(テスト)ボタンを押す

- 正常なときは、切表示ランプが点灯します。

### 2 入(リセット)ボタンを押す

- ブザーが「ピッ」と鳴り、切表示ランプが消灯します。



切(テスト)ボタンを押しても切表示ランプが点灯しないときは、必ず工事店へ修理を依頼してください。



**警告**

ぬれた手で、漏電しゃ断器を操作・点検しない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。



**注意**

漏電しゃ断器は、月1回程度切(テスト)ボタンを押して動作確認をする



必ず守る

動作不良のときは、感電の原因になることがあります。

- 動作不良のときは、工事店へ修理を依頼してください。

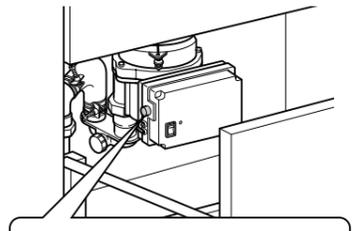
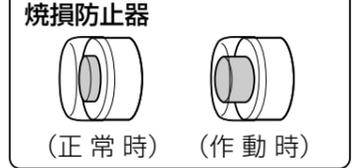
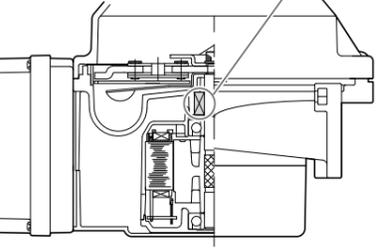
## お願い

- 漏電しゃ断器の前には、ボタン操作の障害になるような物を置かないでください。

# 故障かな？と思ったときには

■ 次の表に従って調べていただき、なお異常のある場合は、すぐに電源スイッチを「切」にして、工事店へご連絡ください。

症状	原因	対応いただく内容	
フタスイッチを「ON」にしても運転しない	▶ 停電しているのでは？	▶ 停電の解除を待ってください。	
	▶ 電源スイッチが「切」になっているのでは？	▶ 電源スイッチを「入」にしてください。(7ページ参照)	
	▶ 漏電しゃ断器の切表示ランプが点灯しているのでは？	▶ 入(リセット)ボタンを押し、切表示ランプの消灯を確認してください。(11ページ参照)	
フタスイッチを「ON」にすると、ブザーが「ピッピッ…」と5回鳴り運転しない	▶ 異物(かたいもの・大きなかたまり状のもの)がかみ込み、破砕刃が動かなくなっているのでは？	▶ 電源スイッチを「切」(7ページ参照)にし、厚手のゴム手袋を着用して破砕部内の異物を取り除き、破砕刃の中心部分が手で回ることを確認してください。  <b>ゴム手袋</b> <b>破砕刃の中心部分</b>	
	▶ 生ごみを詰め込みすぎているのでは？		
運転中にモーターから異常音が生じたり、異常な振動がある	▶ 生ごみを詰め込みすぎているのでは？	▶ 処置後、電源スイッチを「入」にしてください。	
	▶ スプーンなどの金属類やプラスチック類を、誤って入れてしまったのでは？		
	▶ 大きなものや、かたいものを破砕したのでは？		▶ できるだけ細かくして投入してください。(10ページ参照)
	▶ ため水を流しながら、運転しているのでは？		▶ フタスイッチを「OFF」にし、運転を止めてください。
1回の運転中に、破砕音が急にしなくなる	▶ 大きなものや、かたいものを多量に投入したのでは？	▶ モーターのロックを防止するため、破砕刃の回転方向を一時的に逆転することがあります。異常ではありません。できるだけ細かくして投入してください。(10ページ参照)	
投入口への、水の流れが悪い	▶ 生ごみを、入れすぎているのでは？	▶ 投入量を少なくしてください。	
	▶ 破砕が終わっているのに、フタスイッチが「ON」の位置になっているのでは？	▶ フタスイッチを「OFF」の位置にしてください。(9ページ参照)	
フタスイッチを「ON」にすると、ブザーが「ピーピー…」と鳴り運転しない	▶ 投入口にフタを取り付けてから、15分過ぎているのでは？	▶ フタスイッチを一度「OFF」に戻してから、再度「ON」にしてください。(9ページ参照)	

症状	原因	対応いただく内容
フタスイッチを「ON」にすると、ブザーが「ピーピー…」と5回鳴り運転しない	▶ 短時間に6分(6回)をこえて運転をくり返したのでは？	▶ 6分(6回)をこえる運転のくり返しを続けると、製品保護のため一時的に運転ができなくなります。フタスイッチを「OFF」にし、約30分間待ってから運転してください。
運転中にブザーが「ピーピー…」と5回鳴り運転が止まる	▶ 短時間に6分(6回)をこえて運転をくり返したのでは？	
ブザーが「ピッピッ…」と10回鳴る	▶ 環境によっては、機器の保護のため、運転を停止します。	▶ フタスイッチを「OFF」にし、約30分間待ってから運転してください。 ※環境によって30分以上かかることがあります。
ブザーが「ピッピッ…」と鳴る(約1分間)	▶ 焼損防止器が作動して赤ボタンが飛び出しているのでは？ 	▶ 電源スイッチを「切」(7ページ参照)にし、 <b>赤ボタン</b> を押してください。  処置後、電源スイッチを「入」にして、再度焼損防止器が作動する場合は、使用を中止し、電源スイッチを「切」にして、工事店へ修理を依頼してください。
	▶ 焼損防止器  (正常時) (作動時)	
ブザーが「ピッピッ…」と鳴りつづける	▶ 本体の故障です。	▶ 使用を中止し、電源スイッチを「切」にして、工事店へ修理を依頼してください。
本体の底から水が漏れる	▶ 軸封部(オイルシール)からの水漏れでは？ 	▶ オイルシールは長年使用しますと摩耗し、水漏れが発生します。工事店に交換をご依頼ください。 (交換時期は、使用時間などで異なります。)
	▶ <b>オイルシール</b>	

# 故障かな？と思ったときには (つづき)

■ 流量センサー(別売り)を設置している場合のみ

症 状	原 因	対応いただく内容
フタスイッチを「ON」にすると、ブザーが「ピーピー…」と鳴り(約1分間)運転しない	水の量が少ないのでは？ (毎分約8リットル未満)	水栓を開いてください。 (8ページ参照)
	水栓レバーが、お湯または湯水混合の位置になっているのでは？	水栓レバーの位置をいちばん水側にして、水だけを流してください。
	水を流す前に、フタスイッチを「ON」にしたのでは？	水を毎分約8リットル以上流しながら、フタスイッチを「ON」にしてください。
	流量センサーのフィルターが、目詰まりしているのでは？	フィルターのお手入れを工事店へ依頼してください。
運転中にブザーが「ピーピー」と鳴り運転が止まる	水の量が低下したのでは？	水栓を開いてください。 (8ページ参照) そのあと、フタスイッチを一度「OFF」に戻してから、再度「ON」にしてください。(9ページ参照)
	流量センサーのフィルターが、目詰まりしているのでは？	フィルターのお手入れを工事店へ依頼してください。

## 仕 様

設 置 場 所	流し台シンク下部
使 用 可 能 水 温	0℃～40℃ (性能保証温度範囲)
電 源 周 波 数	50 Hz / 60 Hz 共用
電 圧	AC100 V
電 動 機 形 式	DCブラシレスモーター
定 格 出 力	125 W
定 格 消 費 電 力	130 W(50 Hz / 60 Hz)、運転停止時(待機電力)：約1 W
連 続 運 転 時 間	6分(1分×6回)
ス イ ッ チ の 種 類	フタスイッチ方式
破 碎 方 式	チェーンミル方式
安 全 装 置	焼損防止器、漏電しゃ断器
破 碎 部 容 量	約1.2 L(1回あたりの処理容量：約400 g)
外 形 寸 法	幅188 mm × 奥行239 mm × 高さ235 mm
質 量	3.8 kg
ディスポージャー制御	マイコン制御
電源コードの長さ	1.25 m

Panasonic

出張修理

## ディスポージャー保証書

※お客様	お名前	様	※お引渡し日	年 月 日
	ご住所		シリーズ・品番	
※販売店	電話番号 ( ) -		保証期間 (お引渡し日から)	1年間
	取扱販売店名・住所・電話番号			

ご販売店様へ 上記※印欄は必ず記入してお渡しください。

### 無料修理規定

本書はお引渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。

(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、修理ご相談窓口にご相談ください。

(ハ) この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。

2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。

3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

(イ) 使用上の故意・過失または不当な修理や改造による故障及び損傷

(ロ) 消耗部品 (パッキンなど) の取替えや修理

(ハ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷

(ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)などによる故障及び損傷

(ホ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷

(ヘ) 仕上げのキズなどで、お引渡し時に申し出がなかったもの

(ト) 瑕疵によらない自然の摩耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合

(チ) 維持管理の不備による汚れ、さび、給水管、排水管の詰まりなどの不具合

(リ) 施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する損傷や故障

(ヌ) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合

(ル) 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの

(ヲ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷

(ワ) 本書のご提示がない場合

(カ) 保証書にお引渡し年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き替えられた場合

(コ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費

4. 無料修理により取り外された部品・製品は、弊社の所有になります。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

7. 修理ご相談窓口は次頁をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

パナソニック株式会社 集合住宅事業推進部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地 TEL(代表) 06-6908-1131

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などのご相談は

■まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	
電話	
お引き渡し日	年 月 日

■保証書（15 ページ）

お引き渡し日・販売店名などの記入を確かめ、お買い上げの販売店からお受け取り、保管してください。

保証期間：お引き渡し日から本体 1 年間

■補修用性能部品の保有期間 **7 年**

当社は、本製品の機能を維持するために必要な部品を、製造打ち切り後 7 年保有しています。

修理を依頼されるとき

■まず、12～14ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源スイッチを「切」にして、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ご連絡いただきたい内容

- |         |             |
|---------|-------------|
| ①品名     | ディスポージャー    |
| ②品番     | KD-133      |
| ③お引き渡し日 |             |
| ④異常の状況  | (できるだけ具体的に) |

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。

【技術料】 診断・修理・調整・点検などの費用です。

【部品代】 修理に使用した部品および補助材料代です。

【出張料】 お客様のご依頼により技術者を派遣する費用です。

※この商品は日本国内専用品ですので、日本国外で使用しないでください。万一、日本国外で使用された場合は、修理サービスはお受けになれません。

商品の情報はホームページでご確認ください。

パナソニック 住まい

検索

<http://sumai.panasonic.jp/>

■転居などでお困りの場合は、以下のお客様相談窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

消耗品・交換部品・後付パーツのご用命は

ハイ・パーツショップサイト

ハイ・パーツショップ

検索

<https://sumai.panasonic.jp/parts/>

ハイ・パーツショップ 一般のお客様用

フリーダイヤル  **0120-055-802**

※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】 月～金 / 9:00～19:00

土・日・祝日 / 9:00～17:00

※GW 休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。

※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。

●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1224**

修理のご用命は

パナソニック エコソリューションズ  
修理サービスサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>  
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック エコソリューションズ  
修理ご相談窓口

フリーダイヤル  **0120-872-150**

※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】 365 日 / 9:00～20:00

●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6906-1090**

商品のお問い合わせは

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック お客様ご相談センター

フリーダイヤル  **0120-878-365**

※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

【受付時間】 365 日 / 9:00～20:00

●左記番号がご利用いただけない場合は…**06-6907-1187**

●FAX ……………フリーダイヤル  **0120-878-236**

音声ガイダンスを短くするには

案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「650#」を押してください。  
(番号を押しても案内が続く場合は、「\*」ボタンを押してから操作してください。)

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用のディスポージャーの点検を！



こんな症状はありませんか？

- ブザーが「ピッピッ・・・」と鳴りつづける
- 焼損防止器や漏電しゃ断器がたびたび作動する

故障や事故の防止のため、コンセントから漏電しゃ断器付プラグを抜いて、必ず工事中に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社 集合住宅事業推進部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2015

ZGSOD1330ZH

SO109N4105 ©